

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年6月10日まで（2007年8月14日設定）	
運用方針	主として証券投資信託である新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、新興国の債券に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJ新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）	新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）	新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を通じて新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）



第135期（決算日：2019年1月10日）  
 第136期（決算日：2019年2月12日）  
 第137期（決算日：2019年3月11日）  
 第138期（決算日：2019年4月10日）  
 第139期（決算日：2019年5月10日）  
 第140期（決算日：2019年6月10日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）」は、去る6月10日に第140期の決算を行いましたので、法令に基づいて第135期～第140期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) JPモルガンGBI-EM グローバルダイバー シファイド(円換算ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 騰 落	期 騰 落	中 騰 落				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
111期(2017年1月10日)	5,169	25	0.8	29,728.67	1.2	0.0	—	96.5	1,888
112期(2017年2月10日)	5,229	25	1.6	30,095.15	1.2	0.0	—	96.7	1,900
113期(2017年3月10日)	5,235	25	0.6	30,316.46	0.7	0.0	—	96.7	1,848
114期(2017年4月10日)	5,197	25	△0.2	30,297.26	△0.1	0.0	—	96.5	1,828
115期(2017年5月10日)	5,291	25	2.3	31,284.29	3.3	—	—	96.5	1,840
116期(2017年6月12日)	5,242	25	△0.5	31,274.79	△0.0	—	—	96.6	1,824
117期(2017年7月10日)	5,363	25	2.8	31,816.67	1.7	—	—	96.1	1,877
118期(2017年8月10日)	5,284	25	△1.0	31,671.47	△0.5	—	—	96.5	1,815
119期(2017年9月11日)	5,352	25	1.8	32,379.86	2.2	—	—	97.3	1,804
120期(2017年10月10日)	5,324	25	△0.1	32,465.18	0.3	—	—	96.7	1,766
121期(2017年11月10日)	5,258	25	△0.8	32,201.17	△0.8	—	—	96.6	1,729
122期(2017年12月11日)	5,296	25	1.2	32,758.36	1.7	—	—	96.2	1,733
123期(2018年1月10日)	5,403	25	2.5	33,606.02	2.6	—	—	96.8	1,731
124期(2018年2月13日)	5,248	25	△2.4	32,874.30	△2.2	—	—	95.9	1,666
125期(2018年3月12日)	5,155	25	△1.3	32,729.91	△0.4	—	—	96.2	1,591
126期(2018年4月10日)	5,086	25	△0.9	32,612.77	△0.4	—	—	96.2	1,563
127期(2018年5月10日)	4,945	25	△2.3	31,791.64	△2.5	—	—	96.2	1,514
128期(2018年6月11日)	4,809	25	△2.2	30,796.40	△3.1	—	—	96.1	1,472
129期(2018年7月10日)	4,793	25	0.2	31,121.23	1.1	—	—	96.3	1,454
130期(2018年8月10日)	4,693	25	△1.6	30,602.72	△1.7	—	—	95.9	1,420
131期(2018年9月10日)	4,409	25	△5.5	28,992.78	△5.3	—	—	96.1	1,318
132期(2018年10月10日)	4,581	25	4.5	30,134.79	3.9	—	—	96.1	1,355
133期(2018年11月12日)	4,615	25	1.3	30,698.85	1.9	—	—	96.1	1,355
134期(2018年12月10日)	4,568	25	△0.5	30,845.56	0.5	—	—	95.9	1,342
135期(2019年1月10日)	4,487	25	△1.2	30,605.87	△0.8	—	—	96.0	1,311
136期(2019年2月12日)	4,609	25	3.3	31,699.11	3.6	—	—	96.3	1,339
137期(2019年3月11日)	4,560	25	△0.5	31,556.40	△0.5	—	—	96.0	1,327
138期(2019年4月10日)	4,619	25	1.8	32,123.23	1.8	—	—	96.0	1,338
139期(2019年5月10日)	4,443	25	△3.3	30,951.30	△3.6	—	—	95.9	1,283
140期(2019年6月10日)	4,431	25	0.3	31,434.23	1.6	—	—	96.1	1,281

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。JPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイド(円換算ベース)とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせ前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ） J PモルガンGBI-EM グローバル ダイバー シファイド(円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率
		円	騰 落 率	%	騰 落 率			
第135期	(期首) 2018年12月10日	4,568	—	30,845.56	—	—	—	95.9
	12月末	4,502	△1.4	30,507.46	△1.1	—	—	96.5
	(期末) 2019年1月10日	4,512	△1.2	30,605.87	△0.8	—	—	96.0
第136期	(期首) 2019年1月10日	4,487	—	30,605.87	—	—	—	96.0
	1月末	4,578	2.0	31,235.67	2.1	—	—	96.5
	(期末) 2019年2月12日	4,634	3.3	31,699.11	3.6	—	—	96.3
第137期	(期首) 2019年2月12日	4,609	—	31,699.11	—	—	—	96.3
	2月末	4,660	1.1	32,082.90	1.2	—	—	96.6
	(期末) 2019年3月11日	4,585	△0.5	31,556.40	△0.5	—	—	96.0
第138期	(期首) 2019年3月11日	4,560	—	31,556.40	—	—	—	96.0
	3月末	4,572	0.3	31,500.96	△0.2	—	—	96.5
	(期末) 2019年4月10日	4,644	1.8	32,123.23	1.8	—	—	96.0
第139期	(期首) 2019年4月10日	4,619	—	32,123.23	—	—	—	96.0
	4月末	4,572	△1.0	31,730.84	△1.2	—	—	96.4
	(期末) 2019年5月10日	4,468	△3.3	30,951.30	△3.6	—	—	95.9
第140期	(期首) 2019年5月10日	4,443	—	30,951.30	—	—	—	95.9
	5月末	4,411	△0.7	31,075.08	0.4	—	—	96.4
	(期末) 2019年6月10日	4,456	0.3	31,434.23	1.6	—	—	96.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第135期～第140期：2018年12月11日～2019年6月10日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第135期首	4,568円
第140期末	4,431円
既払分配金	150円
騰落率	0.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

債券の利子収入を獲得したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

新興国通貨が対円で概ね下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第135期～第140期：2018年12月11日～2019年6月10日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**新興国通貨建て債券市況（現地通貨建てベース）は、当作成期首に比べ上昇しました。**

債券利子収入や新興国の金利低下などがプラスに寄与しました。国別で見ると、ブラジルでは、ボルソナロ政権による年金改革への期待が継続したこと等から、金利は低下しました。一方、トルコでは、トルコと米国との対立への懸念等を背景に金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**新興国通貨は対円で概ね下落しました。**

通貨別にみると、トルコリラは、トルコと米国との対立への懸念等を背景に、対円で下落しました。メキシコペソは、米国による追加関税の見送り等を受けて、対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年6月10日のコール・レートは-0.056%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）

投資信託証券である新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）への投資を通じて、新興国通貨建て債券を高位に組み入れるとともに、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を継続しました。

### ▶ 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）

#### 資産別組入比率の推移

高い利子収入の獲得と中長期的な値上がり益の獲得をめざし、新興国現地通貨建債券マザーファンドを通じて、実質的に新興国10カ国の国債などを高位に組み入れました。

#### 国別配分戦略

当作成期では、構造改革の継続が期待され、アジア地域内で相対的に利回りが高

く投資魅力度が高いと考えられるインドネシアや、中南米地域では債務水準が低いことや潤沢な外貨準備等を背景に、経済ファンダメンタルズが相対的に安定していると考えられるペルーなどを中心に組み入れました。

### 金利戦略

金利変動による影響を抑制するため、短

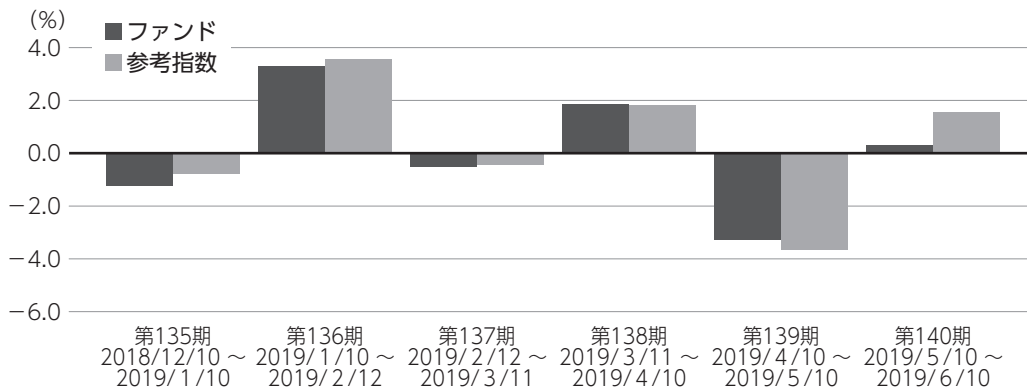
中期債を中心に投資を行った一方、ペルーなど一部の国については、リスク・プレミアムの観点から魅力的であると考えられる長期ゾーンの債券に投資しました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

第135期～第140期：2018/12/11～2019/6/10

## 当投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は J P モルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第135期 2018年12月11日~ 2019年1月10日	第136期 2019年1月11日~ 2019年2月12日	第137期 2019年2月13日~ 2019年3月11日	第138期 2019年3月12日~ 2019年4月10日	第139期 2019年4月11日~ 2019年5月10日	第140期 2019年5月11日~ 2019年6月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>25</b> (0.554%)	<b>25</b> (0.539%)	<b>25</b> (0.545%)	<b>25</b> (0.538%)	<b>25</b> (0.560%)	<b>25</b> (0.561%)
当期の収益	15	20	19	22	17	15
当期の収益以外	9	4	5	2	7	9
翌期繰越分配対象額	298	294	288	285	278	269

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）

#### 今後の運用方針

投資信託証券への投資を通じて新興国通貨建て債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

### ▶ 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）

#### 運用環境の見直し

新興国では、中間層や富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が期待できることなどから、中長期的に内需主導の相対的に高い経済成長が見込まれます。現地通貨建て新興国債券市場については、主要先進国と比較して新興国の金利水準が高いことから、中長期的には相対的に高水準の利子収入の獲得が期待できると見ています。ただし、米中貿易摩擦等には引き続き注視が必要であると考えています。

#### 今後の運用方針

新興国の現地通貨建て債券に投資し、高い利子収入の獲得と中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド 運用環境の見直し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

#### 今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2018年12月11日～2019年6月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第135期～第140期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	22	0.473	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(6)	(0.129)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(15)	(0.323)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	22	0.475	

作成期中の平均基準価額は、4,562円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

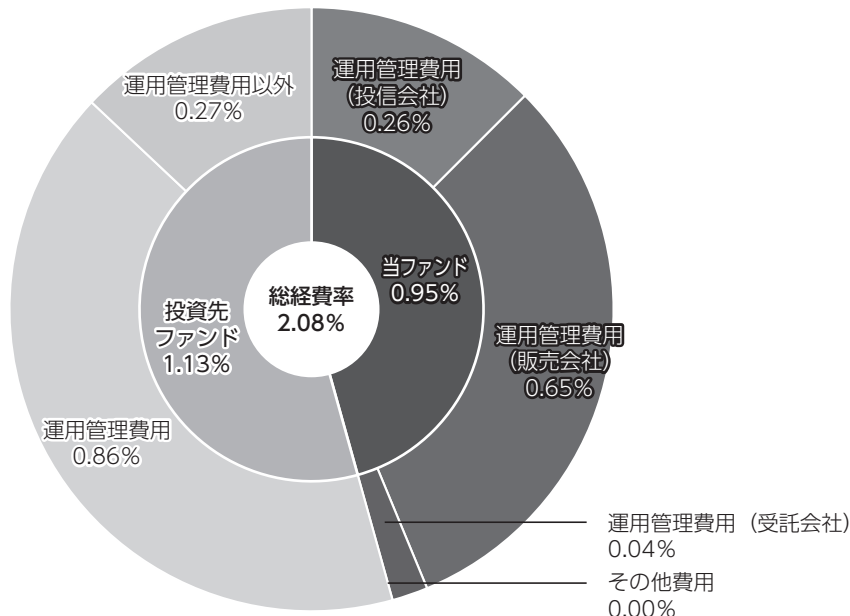
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.08%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.08
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.95
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.86
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.27

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 投資信託証券

銘 柄		第135期～第140期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	千口 85,708	千円 38,600	千口 150,803	千円 68,300

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）&gt;

区 分	第135期～第140期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 38	百万円 38	% 100.0	百万円 68	百万円 68	% 100.0

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第134期末	第140期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	千口 2,861,291	千口 2,796,196	千円 1,231,724	% 96.1
合 計	2,861,291	2,796,196	1,231,724	96.1

(注) 比率は三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄	第134期末		第140期末	
	口	数	口	数
マネー・マーケット・マザーファンド	千口	2,280	千口	2,280
				千円
				2,322

## ○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項目	第140期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
	1,231,724	95.5
マネー・マーケット・マザーファンド	2,322	0.2
コール・ローン等、その他	55,742	4.3
投資信託財産総額	1,289,788	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末
	2019年1月10日現在	2019年2月12日現在	2019年3月11日現在	2019年4月10日現在	2019年5月10日現在	2019年6月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,320,372,732	1,351,550,258	1,337,009,498	1,346,483,054	1,292,264,383	1,289,788,044
コール・ローン等	50,630,612	51,336,091	52,070,738	49,999,414	51,652,426	49,941,381
投資信託受益証券(評価額)	1,259,820,053	1,289,592,100	1,273,916,693	1,284,861,573	1,231,589,890	1,231,724,596
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	2,322,067	2,322,067	2,322,067	2,322,067	2,322,067	2,322,067
未収入金	7,600,000	8,300,000	8,700,000	9,300,000	6,700,000	5,800,000
(B) 負債	8,623,592	11,800,263	9,447,611	8,313,394	8,368,685	8,694,710
未払収益分配金	7,308,954	7,267,606	7,277,535	7,243,504	7,224,137	7,228,220
未払解約金	241,346	3,381,376	1,218,856	19,870	104,185	430,834
未払信託報酬	1,069,219	1,147,154	947,963	1,046,378	1,036,778	1,032,052
未払利息	99	87	33	86	58	97
その他未払費用	3,974	4,040	3,224	3,556	3,527	3,507
(C) 純資産総額(A-B)	1,311,749,140	1,339,749,995	1,327,561,887	1,338,169,660	1,283,895,698	1,281,093,334
元本	2,923,581,933	2,907,042,457	2,911,014,186	2,897,401,813	2,889,654,928	2,891,288,329
次期繰越損益金	△1,611,832,793	△1,567,292,462	△1,583,452,299	△1,559,232,153	△1,605,759,230	△1,610,194,995
(D) 受益権総口数	2,923,581,933口	2,907,042,457口	2,911,014,186口	2,897,401,813口	2,889,654,928口	2,891,288,329口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,487円	4,609円	4,560円	4,619円	4,443円	4,431円

## ○損益の状況

項 目	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日	2019年5月11日～ 2019年6月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,721,403	6,209,425	6,486,369	6,729,428	6,176,901	5,590,338
受取配当金	5,723,902	6,212,043	6,488,056	6,731,345	6,179,419	5,592,393
受取利息	—	—	7	—	—	6
支払利息	△ 2,499	△ 2,618	△ 1,694	△ 1,917	△ 2,518	△ 2,061
(B) 有価証券売買損益	△ 20,949,870	37,617,081	△ 12,294,452	18,364,127	△ 48,607,481	△ 854,746
売買益	9,991	37,771,330	116,973	18,444,828	3,527	9,895
売買損	△ 20,959,861	△ 154,249	△ 12,411,425	△ 80,701	△ 48,611,008	△ 864,641
(C) 信託報酬等	△ 1,073,193	△ 1,151,056	△ 951,187	△ 1,049,934	△ 1,040,305	△ 1,035,559
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 16,301,660	42,675,450	△ 6,759,270	24,043,621	△ 43,470,885	3,700,033
(E) 前期繰越損益金	△1,053,955,494	△1,069,207,728	△1,032,314,720	△1,038,800,408	△1,017,137,743	△1,066,136,695
(F) 追加信託差損益金	△ 534,266,685	△ 533,492,578	△ 537,100,774	△ 537,231,862	△ 537,926,465	△ 540,530,113
(配当等相当額)	( 20,865,310)	( 20,886,150)	( 21,095,767)	( 21,156,296)	( 21,228,524)	( 21,367,856)
(売買損益相当額)	(△ 555,131,995)	(△ 554,378,728)	(△ 558,196,541)	(△ 558,388,158)	(△ 559,154,989)	(△ 561,897,969)
(G) 計(D+E+F)	△1,604,523,839	△1,560,024,856	△1,576,174,764	△1,551,988,649	△1,598,535,093	△1,602,966,775
(H) 収益分配金	△ 7,308,954	△ 7,267,606	△ 7,277,535	△ 7,243,504	△ 7,224,137	△ 7,228,220
次期繰越損益金(G+H)	△1,611,832,793	△1,567,292,462	△1,583,452,299	△1,559,232,153	△1,605,759,230	△1,610,194,995
追加信託差損益金	△ 534,266,685	△ 533,492,578	△ 537,100,774	△ 537,231,862	△ 537,926,465	△ 540,530,113
(配当等相当額)	( 20,865,310)	( 20,886,150)	( 21,095,767)	( 21,156,296)	( 21,228,524)	( 21,367,856)
(売買損益相当額)	(△ 555,131,995)	(△ 554,378,728)	(△ 558,196,541)	(△ 558,388,158)	(△ 559,154,989)	(△ 561,897,969)
分配準備積立金	66,359,224	64,630,722	62,796,986	61,555,680	59,180,376	56,414,876
繰越損益金	△1,143,925,332	△1,098,430,606	△1,109,148,511	△1,083,555,971	△1,127,013,141	△1,126,079,758

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

① 作成期首（前作成期末）元本額 2,939,620,346円

  作成期中追加設定元本額 42,008,060円

  作成期中一部解約元本額 90,340,077円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4431円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,610,194,995円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日	2019年5月11日～ 2019年6月10日
費用控除後の配当等収益額	4,648,208円	6,046,310円	5,535,179円	6,447,829円	5,136,596円	4,554,779円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	20,865,310円	20,886,150円	21,095,767円	21,156,296円	21,228,524円	21,367,856円
分配準備積立金額	69,019,970円	65,852,018円	64,539,342円	62,351,355円	61,267,917円	59,088,317円
当ファンドの分配対象収益額	94,533,488円	92,784,478円	91,170,288円	89,955,480円	87,633,037円	85,010,952円
1万口当たり収益分配対象額	323円	319円	313円	310円	303円	294円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	7,308,954円	7,267,606円	7,277,535円	7,243,504円	7,224,137円	7,228,220円

## ○分配金のお知らせ

	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

## 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)

《第135期》決算日	2018年12月7日
《第136期》決算日	2019年1月7日
《第137期》決算日	2019年2月7日
《第138期》決算日	2019年3月7日
《第139期》決算日	2019年4月8日
《第140期》決算日	2019年5月7日

[計算期間：2018年11月8日～2019年5月7日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則無期限	
運用方針	主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。
	マザーファンド	新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算時（毎月7日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日）に、配当等収益を中心に繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、委託者の判断により分配を行わない場合もあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

運用会社：モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社



## 最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)			参考指数 期中騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額		
	円	税込 分配金	期中 騰落率						
第20作成期	111期 (2016年12月7日)	4,928	24	3.3	28,946.11	3.9	95.7	—	1,815
	112期 (2017年1月10日)	5,011	31	2.3	29,728.67	2.7	96.4	—	1,821
	113期 (2017年2月7日)	4,981	25	△0.1	29,543.79	△0.6	96.9	—	1,804
	114期 (2017年3月7日)	5,096	22	2.8	30,384.45	2.8	92.3	—	1,820
	115期 (2017年4月7日)	5,029	27	△0.8	30,187.38	△0.6	95.8	—	1,761
	116期 (2017年5月8日)	5,142	28	2.8	31,144.31	3.2	96.8	—	1,783
第21作成期	117期 (2017年6月7日)	5,075	24	△0.8	31,137.85	△0.0	97.4	—	1,751
	118期 (2017年7月7日)	5,186	25	2.7	31,598.44	1.5	97.4	—	1,789
	119期 (2017年8月7日)	5,198	28	0.8	31,917.79	1.0	98.5	—	1,766
	120期 (2017年9月7日)	5,227	27	1.1	32,359.11	1.4	98.2	—	1,764
	121期 (2017年10月10日)	5,196	30	△0.0	32,465.18	0.3	98.1	—	1,707
	122期 (2017年11月7日)	5,149	23	△0.5	32,254.17	△0.6	97.1	—	1,674
第22作成期	123期 (2017年12月7日)	5,139	24	0.3	32,548.69	0.9	98.3	—	1,653
	124期 (2018年1月9日)	5,346	28	4.6	33,909.19	4.2	96.7	—	1,693
	125期 (2018年2月7日)	5,225	27	△1.8	33,279.96	△1.9	97.9	—	1,635
	126期 (2018年3月7日)	5,008	22	△3.7	32,398.51	△2.6	97.5	—	1,528
	127期 (2018年4月9日)	5,014	26	0.6	32,731.93	1.0	97.9	—	1,513
	128期 (2018年5月7日)	4,886	23	△2.1	32,011.04	△2.2	92.8	—	1,469
第23作成期	129期 (2018年6月7日)	4,746	22	△2.4	31,272.22	△2.3	92.9	—	1,424
	130期 (2018年7月9日)	4,671	25	△1.1	30,776.44	△1.6	96.4	—	1,391
	131期 (2018年8月7日)	4,681	22	0.7	31,000.50	0.7	96.6	—	1,391
	132期 (2018年9月7日)	4,296	23	△7.7	28,698.34	△7.4	97.5	—	1,258
	133期 (2018年10月9日)	4,478	23	4.8	30,098.26	4.9	97.9	—	1,293
	134期 (2018年11月7日)	4,549	25	2.1	30,754.40	2.2	97.5	—	1,304
第24作成期	135期 (2018年12月7日)	4,501	25	△0.5	30,690.38	△0.2	97.2	—	1,295
	136期 (2019年1月7日)	4,410	20	△1.6	30,529.50	△0.5	96.2	—	1,262
	137期 (2019年2月7日)	4,576	22	4.3	31,910.74	4.5	97.5	—	1,294
	138期 (2019年3月7日)	4,582	23	0.6	32,032.20	0.4	97.8	—	1,292
	139期 (2019年4月8日)	4,585	24	0.6	32,119.91	0.3	97.9	—	1,286
	140期 (2019年5月7日)	4,463	22	△2.2	31,359.36	△2.4	97.8	—	1,253

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。  
JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。

## 過去6ヶ月間の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第135期	(期 首) 2018年11月7日	4,549	—	30,754.40	—	97.5	—
	11月末	4,593	1.0	31,170.21	1.4	96.8	—
	(期 末) 2018年12月7日	4,526	△0.5	30,690.38	△0.2	97.2	—
第136期	(期 首) 2018年12月7日	4,501	—	30,690.38	—	97.2	—
	12月末	4,436	△1.4	30,507.46	△0.6	95.9	—
	(期 末) 2019年1月7日	4,430	△1.6	30,529.50	△0.5	96.2	—
第137期	(期 首) 2019年1月7日	4,410	—	30,529.50	—	96.2	—
	1月末	4,524	2.6	31,235.67	2.3	96.5	—
	(期 末) 2019年2月7日	4,598	4.3	31,910.74	4.5	97.5	—
第138期	(期 首) 2019年2月7日	4,576	—	31,910.74	—	97.5	—
	2月末	4,615	0.9	32,082.90	0.5	96.8	—
	(期 末) 2019年3月7日	4,605	0.6	32,032.20	0.4	97.8	—
第139期	(期 首) 2019年3月7日	4,582	—	32,032.20	—	97.8	—
	3月末	4,530	△1.1	31,500.96	△1.7	97.1	—
	(期 末) 2019年4月8日	4,609	0.6	32,119.91	0.3	97.9	—
第140期	(期 首) 2019年4月8日	4,585	—	32,119.91	—	97.9	—
	4月末	4,535	△1.1	31,730.84	△1.2	97.5	—
	(期 末) 2019年5月7日	4,485	△2.2	31,359.36	△2.4	97.8	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

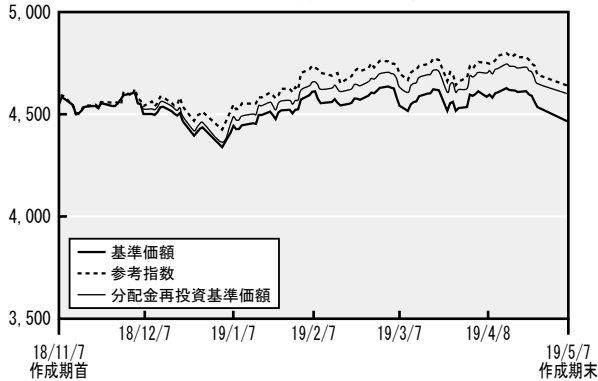
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## 運用経過

## 基準価額等の推移



（注1） 分配金再投資基準価額、参考指数は作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

（注2） 参考指数としてJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## ◆ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額は期首比1.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## ◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

◎ 新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入

- ・世界的に債券市場の金利が安定的に推移する中、新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入が下支えとなり、代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは+4.7%となりました。

## ◎ 新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・新興国通貨は対米ドルで $\Delta 1.4\%$ となりました。JPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したことで、期首比+3.2%となりました。

## ◎ 米ドル／円は下落

- ・当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは $\Delta 2.9\%$ （円高）となり、新興国通貨の対円でのリターンは $\Delta 4.0\%$ （円高）となりました。

## ◎ 投資環境について

- ・新興国債券市場は、インフレが全般的に落ち着いていること、加えて、米国での利上げ休止など主要中銀による緩和姿勢の強化を受けて、グローバルに金利の上昇が抑制される中、相対的に高いキャリーが支えとなり、堅調な推移となりました。
- ・新興国為替市場は、米国景気が緩やかに鈍化し、利上げ休止が想定されたこと等を背景に、これまでの新興国市場の懸念材料であった米ドル高傾向に徐々に歯止めがかかる中、新興国通貨は全般的には落ち着いた推移となりました。米ドル／円は、年末年始にかけて先行きの世界景気に対して過度に悲観的な見方が台頭したことや、米中間での貿易問題等を背景に、リスク回避的に円高が進行する局面がありました。

## ◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債を高位に組み入れました。

### ◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①国内経済が比較的良好で、米中貿易戦争の影響など不安定な外部環境の影響を受けづらいポーランドや、②インフレなど経済環境が安定化し、一方で実質金利が高く債券市場が魅力的なロシア、③インカム・ゲインが高く、通貨が特に割安な水準と考えられるトルコ、などへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①これまでの利上げを受けインカム水準が改善していることや、通貨のバリュエーションが割安であると考えられたメキシコ、②インフレなど経済ファンダメンタルズが安定化しつつあり、利回りが相対的に高いブラジル、③債務水準が低いことや潤沢な外貨準備等を背景に、中南米地域の中では特に経済ファンダメンタルズが安定的なペルー、などへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、政治的に安定しており構造改革路線の継続が期待されることや、経済ファンダメンタルズの安定化に加えて、アジア地域内では利回りが相対的に高く、投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

### ◎金利戦略

- ・金利変動による影響を抑制しつつ、相対的に高いキャリーを享受するために、短期債を中心に投資を行いました。
- ・一方、ペルーなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

## ◆ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークは設定しておりません。参考指数は、JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。期中の騰落率は、ファンドが+1.1%（分配金再投資ベース）、参考指数が+2.0%となりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。

## ◆ 分配金について

当期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第135期25円、第136期20円、第137期22円、第138期23円、第139期24円、第140期22円（作成期中合計136円）とさせていただきます。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・米国景気は緩やかに減速する傾向であるものの、景気の失速は避けられています。中国については、景気の下振れリスクが高まる局面では、これまで通り当局による金融緩和や財政刺激策が期待され、景気は下支えされると考えられます。グローバルにも景気の安定化傾向が期待されます。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、中長期的には高い経済成長が期待されます。一部の国においては、これまでの政策対応等により、インフレや経常収支が安定化しており、新興国全体としても景気は回復局面にあると考えられます。一方、選挙等の政治イベントをきっかけとしたボラティリティの高まりや、米中間の貿易問題などの不透明感には引き続き注視が必要と考えています。
- ・新興国債券市場にとって、2018年には米国の堅調な景気や利上げ継続を背景に米ドル高が進展し、新興国通貨売り・米ドル買いの動きや投資家資金の流出が警戒されました。一方、今後については、米国景気がやや減速することが想定される中、利上げ休止など金融政策のハト派化は、米ドルのさらなる上昇を抑制することに繋がるため、新興国債券市場にとってサポート要因として期待されます。
- ・中長期的な観点からは、先進国債券市場と比較して新興国債券市場は相対的に高金利であることから、キャリー収益の積み上げが期待出来ることもポジティブです。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

### ◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

上記は将来の市況環境の変動等を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。

1万口当たりの費用明細

項目	第135期～第140期 (2018年11月8日～2019年5月7日)		項目の概要
	金額	比率	
	a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	20円 (19) (0) (1)	
b) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	5 (3)  (2) (0)	0.107 (0.057)  (0.048) (0.002)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	25	0.546	

当作成期中の平均基準価額は、4,538円です。

(注1) 作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況

(2018年11月8日から2019年5月7日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決算期	第135期～第140期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
新興国現地通貨建債券マザーファンド	千口 29,508	千円 36,900	千口 95,474	千円 119,559

(注) 単位未満は切捨て。

## 利害関係人との取引状況等

(2018年11月8日から2019年5月7日まで)

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

## 親投資信託残高

種 類	第 23 作 成 期 末		第 24 作 成 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
新興国現地通貨建債券マザーファンド	1,062,169	千口	996,203	千口 1,251,430

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項 目	第 24 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国現地通貨建債券マザーファンド	1,251,430 千円	98.9 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	13,750	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,265,180	100.0

(注1) 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(1,253,450千円)の投資信託財産総額(1,263,046千円)に対する比率は99.2%です。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年5月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.69円、1メキシコペソ=5.83円、1ブラジルレアル=27.90円、100チリペソ=16.32円、100コロンビアペソ=3.40円、1ペルーソール=33.46円、1トルコリラ=18.19円、100ハンガリーフォリント=38.30円、1ポーランドズロチ=28.95円、1ロシアルーブル=1.70円、100インドネシアルピア=0.78円、1南アフリカランド=7.66円です。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第135期末 2018/12/7 現在	第136期末 2019/1/7 現在	第137期末 2019/2/7 現在	第138期末 2019/3/7 現在	第139期末 2019/4/8 現在	第140期末 2019/5/7 現在
(A) 資 産	1,304,090,453円	1,269,016,984円	1,309,827,094円	1,308,798,195円	1,303,156,532円	1,265,180,084円
コール・ローン等	1,058,960	1,060,233	1,933,964	2,006,388	2,056,175	2,129,128
新興国現地通貨建債券 マザーファンド(評価額)	1,294,771,493	1,260,286,751	1,300,523,130	1,299,271,807	1,293,180,357	1,251,430,957
未 収 入 金	8,260,000	7,670,000	7,370,000	7,520,000	7,920,000	11,619,999
(B) 負 債	8,258,673	6,796,172	15,597,443	16,170,105	17,146,917	11,585,386
未払収益分配金	7,197,146	5,724,742	6,221,716	6,488,061	6,731,429	6,179,830
未払解約金	—	—	8,299,999	8,699,999	9,299,999	4,399,999
未払信託報酬	953,793	962,699	966,539	882,406	1,002,272	903,501
未払利息	3	3	5	4	5	6
その他未払費用	107,731	108,728	109,184	99,635	113,212	102,050
(C) 純資産総額(A-B)	1,295,831,780	1,262,220,812	1,294,229,651	1,292,628,090	1,286,009,615	1,253,594,698
元 本	2,878,858,658	2,862,371,278	2,828,052,853	2,820,896,133	2,804,762,221	2,809,013,744
次期繰越損益金	△1,583,026,878	△1,600,150,466	△1,533,823,202	△1,528,268,043	△1,518,752,606	△1,555,419,046
(D) 受益権総口数	2,878,858,658口	2,862,371,278口	2,828,052,853口	2,820,896,133口	2,804,762,221口	2,809,013,744口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,501円	4,410円	4,576円	4,582円	4,585円	4,463円

## 損益の状況

項 目	第135期 2018/11/8~2018/12/7	第136期 2018/12/8~2019/1/7	第137期 2019/1/8~2019/2/7	第138期 2019/2/8~2019/3/7	第139期 2019/3/8~2019/4/8	第140期 2019/4/9~2019/5/7
(A) 配 当 等 収 益	△ 57円	△ 57円	△ 101円	△ 135円	△ 111円	△ 147円
支 払 利 息	△ 57	△ 57	△ 101	△ 135	△ 111	△ 147
(B) 有価証券売買損益	△ 5,540,699	△ 19,416,484	54,406,447	9,181,210	8,666,490	△ 27,205,402
売 買 益	33,415	642	54,905,215	9,274,688	8,877,138	34,966
売 買 損	△ 5,574,114	△ 19,417,126	△ 498,768	△ 93,478	△ 210,648	△ 27,240,368
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,061,518	△ 1,071,427	△ 1,075,723	△ 982,041	△ 1,115,484	△ 1,005,539
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,602,274	△ 20,487,968	53,330,623	8,199,034	7,550,895	△ 28,211,088
(E) 前期繰越損益金	△1,076,661,334	△1,077,693,665	△1,085,322,149	△1,031,071,881	△1,018,629,470	△1,014,320,060
(F) 追加信託差損益金	△ 492,566,124	△ 496,244,091	△ 495,609,960	△ 498,907,135	△ 500,942,602	△ 506,708,068
(配当等相当額)	( 293,766)	( 315,455)	( 343,151)	( 115,878)	( 138,343)	( 166,009)
(売買損益相当額)	(△ 492,859,890)	(△ 496,559,546)	(△ 495,953,111)	(△ 499,023,013)	(△ 501,080,945)	(△ 506,874,077)
(G) 計(D+E+F)	△1,575,829,732	△1,594,425,724	△1,527,601,486	△1,521,779,982	△1,512,021,177	△1,549,239,216
(H) 収 益 分 配 金	△ 7,197,146	△ 5,724,742	△ 6,221,716	△ 6,488,061	△ 6,731,429	△ 6,179,830
次期繰越損益金(G+H)	△1,583,026,878	△1,600,150,466	△1,533,823,202	△1,528,268,043	△1,518,752,606	△1,555,419,046
追加信託差損益金	△ 492,566,124	△ 496,244,091	△ 495,870,141	△ 498,907,135	△ 500,942,602	△ 506,851,328
(配当等相当額)	( 315,846)	( 346,037)	( 110,540)	( 135,899)	( 163,137)	( 43,377)
(売買損益相当額)	(△ 492,881,970)	(△ 496,590,128)	(△ 495,980,681)	(△ 499,043,034)	(△ 501,105,739)	(△ 506,894,705)
分配準備積立金	230,440	254,106	1,370,777	684,507	531,180	170,451
繰 越 損 益 金	△1,090,691,194	△1,104,160,481	△1,039,323,838	△1,030,045,415	△1,018,341,184	△1,048,738,169

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



〈注記事項〉

- ①作成期首元本額 2,867,637,535円  
 作成期中追加設定元本額 81,503,618円  
 作成期中一部解約元本額 140,127,409円

②元本の欠損

貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,555,419,046円（第140期末）であります。

③分配金の計算過程

		第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
費用控除後の配当等収益額	A	6,300,016円	5,743,340円	7,075,585円	5,810,247円	6,584,245円	5,673,899円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	C	315,846円	346,037円	370,721円	135,899円	163,137円	186,637円
分配準備積立金額	D	1,127,570円	235,508円	256,727円	1,362,321円	678,364円	533,122円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,743,432円	6,324,885円	7,703,033円	7,308,467円	7,425,746円	6,393,658円
当ファンドの期末残存口数	F	2,878,858,658口	2,862,371,278口	2,828,052,853口	2,820,896,133口	2,804,762,221口	2,809,013,744口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	26円	22円	27円	25円	26円	22円
1万口当たり分配金額	H	25円	20円	22円	23円	24円	22円
収益分配金額	I=F*H/10,000	7,197,146円	5,724,742円	6,221,716円	6,488,061円	6,731,429円	6,179,830円

（注）配当等収益には、当ファンドに帰属すべきマザーファンドの配当等収益を含んでおります。

分配金のお知らせ

収益分配金および分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
	2018年11月8日～ 2018年12月7日	2018年12月8日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年2月7日	2019年2月8日～ 2019年3月7日	2019年3月8日～ 2019年4月8日	2019年4月9日～ 2019年5月7日
当期分配金	25	20	22	23	24	22
（対基準価額比率）	0.552%	0.451%	0.478%	0.499%	0.521%	0.491%
当期の収益	21	20	21	20	23	20
当期の収益以外	3	—	0	2	0	1
翌期繰越分配対象額	1	2	5	2	2	0

（注1）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、「当期分配金」と一致しない場合があります。

【お知らせ】

該当事項はありません。

# 新興国現地通貨建債券マザーファンド

## 《第12期》決算日2018年11月7日

[計算期間：2017年11月8日～2018年11月7日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2017年11月7日	円 13,059	% —		% —	% 97.1	% —
11月末	13,029	△ 0.2	32,395.22	0.4	97.2	—
12月末	13,393	2.6	33,242.23	3.1	96.5	—
2018年1月末	13,408	2.7	33,294.64	3.2	97.1	—
2月末	13,212	1.2	32,849.96	1.8	98.1	—
3月末	13,106	0.4	32,726.59	1.5	96.7	—
4月末	13,054	△ 0.0	32,653.33	1.2	92.3	—
5月末	12,432	△ 4.8	30,902.00	△4.2	92.3	—
6月末	12,202	△ 6.6	30,356.72	△5.9	96.5	—
7月末	12,615	△ 3.4	31,281.95	△3.0	95.9	—
8月末	11,735	△10.1	29,268.31	△9.3	96.8	—
9月末	12,291	△ 5.9	30,778.38	△4.6	97.2	—
10月末	12,118	△ 7.2	30,254.92	△6.2	97.6	—
(期 末) 2018年11月7日	12,365	△ 5.3	30,754.40	△4.6	96.8	—

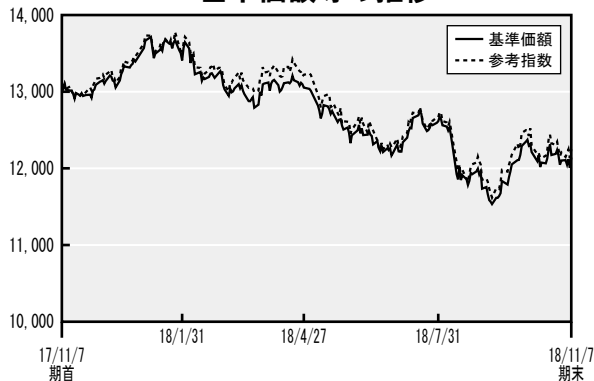
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバースファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## 運用経過

## 基準価額等の推移



(注1) 参考指数は期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## ◎米ドル/円は上昇

- ・当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは $\Delta 0.4\%$ （円高）となり、新興国通貨の対円でのリターンは $\Delta 6.5\%$ （円高）となりました。

## ◎投資環境について

- ・新興国債券市場は、米国国債の下落（利回りは上昇）が波及し、世界的に金利が上昇したことに加えて、特にトルコなど一部の新興国債券市場が国内政治情勢の不透明感等が嫌気され大幅に下落（利回りは上昇）したことがマイナス要因となったものの、相対的に高いキャリーが支えとなり、現地通貨ベースではプラスのリターンとなりました。
- ・新興国為替市場は、国内政治情勢の不透明感が嫌気されたトルコ・リラ等の一部の新興国通貨の下落幅が大きくなった影響で、軟調な展開となりました。米ドル/円は、概ねレンジの範囲内の動きとなり、若干の円高米ドル安となりました。

## ◆ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額は期首比 $5.3\%$ の下落となりました。

## ◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

- ◎新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入
  - ・新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入を背景に、代表的市場インデックスであるJPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは $+2.6\%$ となりました。
- ◎新興国通貨は米ドルに対して下落
  - ・新興国通貨は対米ドルで $\Delta 5.9\%$ となりました。JPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したことで、期首比 $\Delta 3.5\%$ となりました。

## ◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債を高位に組み入れました。

### ◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①国内経済が比較的良好で、米中貿易戦争の影響など不安定な外部環境の影響を受けづらいポーランドや、②これまでの原油価格の上昇が景気の下支え要因になると考えられるロシア、③インカム・ゲインが高く、通貨が特に割安な水準と考えられるトルコ、などへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①利上げを受けインカム水準が改善していることや、通貨のバリュエーションが割安であると考えられたメキシコ、②インフレなど経済ファンダメンタルズが安定化しつつあり、利回りが相対的に高いブラジル、③債務水準が低いことや潤沢な外貨準備等を背景に、中南米地域の中では特に経済ファンダメンタルズが安定的なペルー、などへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、物価や経常収支の改善が見られ、比較的堅調なペースでの経済成長が続き、経済ファンダメンタルズが安定化していることに加えて、アジア地域内では利回りが相対的に高いことなどを背景に投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

### ◎金利戦略

- ・金利変動による影響を抑制しつつ、相対的に高いキャリーを享受するために、短期債を中心に投資を行いました。
- ・一方、ペルーなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

## ◆ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークは設定しておりません。参考指数は、JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。作成期中の騰落率は、ファンドが $\Delta 5.3\%$ （分配金再投資ベース）、参考指数が $\Delta 4.6\%$ となりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。

## 今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかなペースでの景気の拡大が持続しています。特に米国を中心に比較的良好な経済成長ペースが維持されています。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、中長期的には高い経済成長が期待されます。足元では、米国の貿易政策などに対する不透明感が高まっていることから、経済ファンダメンタルズや財政状況、政治情勢などの不安定さが残る国などには注視が必要であり、投資対象の選別が特に重要と考えています。一方、一部の国においては、これまでの政策対応等により、インフレや経常収支など経済ファンダメンタルズの改善が確認されていることがポジティブな要因として考えられます。
- ・金融政策に関しては、米国においてFRB（連邦準備制度理事会）は経済の状況を確認しながら非常に緩やかなペースで利上げを行うことが想定されます。一方で、景気やインフレが大幅に加速する兆候は無く、また貿易面での不透明感が景気の下押し要因になる可能性があるため、金利の大幅な上昇は抑制されると考えています。
- ・中長期的な観点からは、先進国債券市場と比較して新興国債券市場は相対的に高金利であることから、キャリー収益の積み上げが期待出来ることもポジティブです。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

### ◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年11月8日～2018年11月7日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	20円 (19)	0.158% (0.153)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
(その他)	(1)	(0.004)	
合計	20	0.158	

当期中の平均基準価額は、12,716円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

## 売買および取引の状況

(2017年11月8日から2018年11月7日まで)

## 公社債

			買付額	売付額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 2,923
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル —	千ブラジルレアル 975
	ペルー	国債証券	千ペルーソル —	千ペルーソル 2,282
	トルコ	国債証券	千トルコリラ —	千トルコリラ 815
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 1,926	千ポーランドズロチ (1,559 2,628)
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 42,621	千ロシアルーブル —

			買付額	売付額
外 国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア —	千インドネシアルピア 1,034,000
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 4,546

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 利害関係人との取引状況等

(2017年11月8日から2018年11月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2018年11月7日現在)

## ◆ 公社債

## (A) 債券種類別開示 外国(外貨建)公社債

区 分	当 期			組入比率	うちBB格 以下組入比率	末		
	額面金額	評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
メ キ シ コ	千メキシコペソ 25,700	千メキシコペソ 24,040	千円 137,991	% 10.5	% —	% 9.4	% 1.1	% —
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 5,058	千ブラジルレアル 5,231	157,196	12.0	12.0	—	12.0	—
チ リ	千チリペソ 616,000	千チリペソ 635,213	105,762	8.1	—	—	—	8.1
コ ロ ン ビ ア	千コロンビアペソ 2,930,000	千コロンビアペソ 2,813,989	101,022	7.7	—	—	7.7	—
ペ ル ー	千ペルーソル 4,290	千ペルーソル 4,448	149,236	11.4	—	11.4	—	—
ト ル コ	千トルコリラ 4,555	千トルコリラ 4,142	87,495	6.7	6.7	—	—	6.7
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 4,680	千ポーランドズロチ 4,845	146,033	11.1	—	4.5	—	6.6
ロ シ ア	千ロシアルーブル 42,000	千ロシアルーブル 40,427	69,130	5.3	—	5.3	—	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 24,288,000	千インドネシアルピア 24,510,640	188,731	14.4	—	14.4	—	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 15,925	千南アフリカランド 16,073	129,067	9.8	—	—	—	9.8
合 計	—	—	1,271,667	96.8	18.7	44.9	20.7	31.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 個別銘柄開示 外国（外貨建）公社債

銘柄	当		期		末		償還年月日
	種類	利率	額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ) MEXICO MEXICO	国債証券	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
		6.5	2,600	2,485	14,266	2021/6/10	
		7.5	23,100	21,554	123,724	2027/6/3	
小計					137,991		
(ブラジル) BRAZIL	国債証券		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
		10.0	5,058	5,231	157,196	2021/1/1	
小計					157,196		
(チリ) CHILE	国債証券		千チリペソ	千チリペソ			
		5.5	616,000	635,213	105,762	2020/8/5	
小計					105,762		
(コロンビア) COLOMBIA	国債証券		千コロンビアペソ	千コロンビアペソ			
		4.375	2,930,000	2,813,989	101,022	2023/3/21	
小計					101,022		
(ペルー) PERU	国債証券		千ペルーソル	千ペルーソル			
		6.35	4,290	4,448	149,236	2028/8/12	
小計					149,236		
(トルコ) TURKEY	国債証券		千トルコリラ	千トルコリラ			
		10.5	4,555	4,142	87,495	2020/1/15	
小計					87,495		
(ポーランド) POLAND POLAND	国債証券		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
		5.5	2,780	2,894	87,241	2019/10/25	
		3.25	1,900	1,950	58,792	2025/7/25	
小計					146,033		
(ロシア) RUSSIA	国債証券		千ロシアルーブル	千ロシアルーブル			
		7.75	42,000	40,427	69,130	2026/9/16	
小計					69,130		
(インドネシア) INDONESIA	国債証券		千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
		8.375	24,288,000	24,510,640	188,731	2024/3/15	
小計					188,731		
(南アフリカ) SOUTH AFRICA	国債証券		千南アフリカランド	千南アフリカランド			
		7.25	15,925	16,073	129,067	2020/1/15	
小計					129,067		
合計					1,271,667		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。



## 投資信託財産の構成

(2018年11月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	1,271,667	96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	49,895	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,321,562	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(1,320,683千円)の投資信託財産総額(1,321,562千円)に対する比率は99.9%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年11月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.15円、1メキシコペソ=5.74円、1ブラジルレアル=30.05円、100チリペソ=16.65円、100コロンビアペソ=3.59円、1ペルーソール=33.55円、1トルコリラ=21.12円、100ハンガリーフォリント=40.28円、1ポーランドズロチ=30.14円、1ロシアルーブル=1.71円、100インドネシアルピア=0.77円、1南アフリカランド=8.03円です。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,339,562,098円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,744,437
公 社 債(評価額)	1,271,667,894
未 収 入 金	34,191,392
未 収 利 息	25,958,375
(B) 負 債	26,239,829
未 払 金	17,999,777
未 払 解 約 金	8,240,000
そ の 他 未 払 費 用	52
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	1,313,322,269
元 本	1,062,169,180
次 期 繰 越 損 益 金	251,153,089
(D) 受 益 権 総 口 数	1,062,169,180口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,365円

## 損益の状況

(2017年11月8日から2018年11月7日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	95,995,037円
受 取 利 息	95,997,230
そ の 他 収 益 金	2,182
支 払 利 息	△ 4,375
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△171,925,613
売 買 益	88,345,070
売 買 損	△260,270,683
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,361,831
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 78,292,407
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	392,290,292
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	14,068,814
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 76,913,610
(H) 計 (D + E + F + G)	251,153,089
次 期 繰 越 損 益 金(H)	251,153,089

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 〈注記事項〉

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,282,444,356円
期中追加設定元本額	52,831,186円
期中一部解約元本額	273,106,362円
期末における元本の内訳	
新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	1,062,169,180円
期末元本額合計	1,062,169,180円

【お知らせ】

該当事項はありません。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第29期》決算日2019年5月20日

[計算期間：2018年11月21日～2019年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第29期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %	純資 産額
		騰落	中率 %					
25期(2017年5月22日)	10,184		0.0		—		—	百万円 1,681
26期(2017年11月20日)	10,184		0.0		—		—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		—		—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %
		騰落	率 %				
(期首) 2018年11月20日	10,183		—		—		—
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2019年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,183		0.0		—		—
4月末	10,183		0.0		—		—
(期末) 2019年5月20日	10,183		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

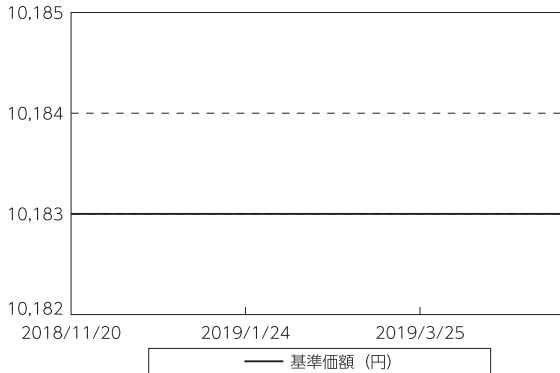
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年5月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年5月20日)

## その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 232,199,828	千円 232,599,835

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,996	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,996	% 95.5
コール・ローン等、その他	65,419	4.5
投資信託財産総額	1,465,415	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月20日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	1,465,415,191
コール・ローン等	65,418,280
その他有価証券(評価額)	1,399,996,911
(B) 負債	543,682
未払解約金	543,565
未払利息	117
(C) 純資産総額(A-B)	1,464,871,509
元本	1,438,552,736
次期繰越損益金	26,318,773
(D) 受益権総口数	1,438,552,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,848,959,925円  
期中追加設定元本額 1,374,000,391円  
期中一部解約元本額 1,784,407,580円  
また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	350,007,595円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	129,095,075円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	265,842円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,037,414円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	82,857,749円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	847,016円

## ○損益の状況 (2018年11月21日~2019年5月20日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 52,807
受取利息	5,192
支払利息	△ 57,999
(B) 保管費用等	△ 857
(C) 当期損益金(A+B)	△ 53,664
(D) 前期繰越損益金	33,882,688
(E) 追加信託差損益金	25,144,076
(F) 解約差損益金	△32,654,327
(G) 計(C+D+E+F)	26,318,773
次期繰越損益金(G)	26,318,773

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,674円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	7,661,389円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	601,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	1,506,013円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,388円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	79,543円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 124, 755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2, 990, 177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3, 377, 211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8, 478, 079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4, 145, 749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8, 067, 104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3, 319, 056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20, 075, 917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1, 616, 484円
三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5, 899, 118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10, 826, 836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2, 026, 238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128, 363円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79, 540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1, 375, 824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698, 261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491, 015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564, 702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89, 371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3, 063, 931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6, 324, 266円
三菱UFJ ターゲット・イヤーズ・ファンド2030 (確定拠出年金)	3, 228, 387円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9, 820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6, 313, 826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	19, 600円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	206, 110円
スマート・プロテクター90オープン	981, 933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	383, 914円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305, 382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49, 097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3, 683, 229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17, 656, 128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5, 843, 481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25, 393, 755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36, 457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87, 384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9, 820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9, 820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9, 821円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9, 821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
Navio インド債券ファンド	296, 406円
Navio マネーボールファンド	5, 079, 595円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
三菱UFJ / AMP オーストラリアRETファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11, 293, 333円



マネーブールファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	9,985,986円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	7,134,289円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	34,070,036円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	15,653,542円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	248,414,023円
合計	1,438,552,736円